

2019年



3連休はいかがでしたか？私はラグビーの試合をファンゾーンで観戦しました。いい試合でしたね～。私たちに夢と希望と勇気を与えてくれました。「ノーサイド」試合中は激しく体をぶつけ合う選手たちだが、試合が終われば敵も味方もないという意味でお互いを讃え合うラグビーの精神。フィールドから退く選手たちを拍手で送り出す姿にも感動しました。

大江の風



10月15日
No.55

4年生の総合についていきました

4年生は、総合的な学習の時間に「福祉」について学んでいます。2学期になって、ディサービスぼぼろさんとの交流を始めました。今お年寄りといっしょに暮らす家庭が少なくなりましたね。子どもたちは、「お年寄りと何を話せばいいのかな？」「お年寄りと私たちは、何が同じで何がちがうんだろう」「お年寄りに喜んでもらいたいな」と事前にたくさん考え、話し合い、準備をしていきました。「まず明るく元気にあいさつは大事だよな。」「恥ずかしがらず自分からお年寄りに話しかけよう。」「人生の大先輩だから礼儀正しくしなくっちゃ。」という声も聞こえてきました。なんてすてきな子どもたちでしょう。そして当日、到着したら、自分たちで司会進行。一緒に歌をうたったりリズム遊びをしたり・・・お年寄りの皆さんの顔がぱっと明るく笑顔になりました。全体発表が終わったら、各班に分かれて交流をしました。まず名刺を差し出して自己紹介。お手玉をしたりあやとりをしたり、クイズをだしたりプレゼントを渡したり・・・あっという間に時間は過ぎていきました。お年寄りとの交流学習は、単に子どもたちとお年寄りが楽しむことだけではありませ

「もみじ」をみんなで歌えるように歌詞も大きく書いていましたね。またダンスも上手でしたよ。



ん。弱い立場の人を慈しみ、同じ人として互いにいたわりあって共存できるよう人として認め合い、成長することが大きな目的です。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることです。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められます。この交流学習で、子どもたちの思いやりの心がふくらみ、体験がよい経験として蓄積され、日々の生活に活かされていくことを願っています。



名刺には名前を大きく丁寧に書いてあります



名刺にはイラストつきで好きな物も書いてありました。



目線を合わせてごあいさつができていますね。



とても喜んでもらえてうれしかったね。

鍵盤ハーモニカとタンブリンと手拍子で楽しいリズム遊びができました。2回目はお年寄りバージョンでゆっくり演奏しました。

おまけ

5年生が大江に住んでいる熊本支援学校の5年生K君と交流しました。K君は大江の図書室に来ることを(*へ)



(*)とても楽しみにしていたそうです。そしてみんなと一緒に大橋先生の読み聞かせを聴きました。本の題は「本の声を聞きました」でした。夜中の図書室での本たちの会話から、これまで自分はどうなふうにも本を扱ってきたかな～と考えさせられる内容でした。「処分される本」は本当に悲しいですね。本の気持ちになってじ～んとききました。